



三須町の



つなぐ本舗

三須町にある雑貨店

「つなぐ本舗」

築 100年ほどの実家を所有者さんご自身でDIYした建物です。敷地内に2棟の建物が建っており、そのうち1棟は既存の建物を改修しています。母屋部分は雑貨店兼古着屋として、納屋部分は2階床を外し吹き抜けとした、平屋のカフェとして営業されています。

DIY がもともと好きな所有者さんには、DIY に精通したご友人がいらつしやるそうです。DIY の指導をしてもらいながら、友人と協力して、仕事終わりの休日にコツコツと少しずつ住宅を改修していったそうです。

「実家で古い建物」を相続した際、解



体を選ばれる方も多いと思います。しかし所有者さんは、これを逆手にとり、「ちょっとくらい失敗してもいいから、自分の好きなように改修できることが楽しい。」とおっしゃっていました。

昔の建物の良さ

昔の建物には今では手に入りにくい構造部材等や、1点1点手作りされた造り付けの家具や木製建具、レトロなタイルなど、今の住宅にはない魅力を秘めたものが多く残っています。この物件では、大工さんの手仕事の風合いが残った部材が多く残されており、そこに経年変化が加わり、味わい深い建物となっています。



▲ (カフェの大梁)

▼ (2階古着屋) 窓ガラスには、所有者さんが貼ったDIYのリメイクシールが。オモテ面から見た際にも木造建物のアクセントに。
▼ (雑貨店入口) 既存タイルをそのまま残す。現代の建物ではなかなか味わうことのできないレトロな印象です。



▲ (雑貨店縁側)

▼ (カフェの大梁) 納屋を吹き抜けにしたことで、大きな梁が見出しとなり、迫力や手仕事の風合いが感じられます。
▼ (雑貨店縁側) 縁側には、小学生の子どもたちが気軽に立ち寄れるようにと、駄菓子スペースが設置されています。使い込まれた床の光沢と駄菓子がレトロな空気感を醸し出しています。



▲ (2階古着屋)



▲ (雑貨店入口)